

所報

題字：武田満之校長(平成9年、野幌中学校)

第200号 令和8年5月29日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6 TEL381-1058

(主な内容)

- ・ 第1回小学校外国語教育指導連絡協議会開催について
- ・ 令和8年度江別市教育研究所事業計画

第1回小学校外国語教育指導連絡協議会を開催

5月18日(月)に、今年度第1回目の小学校外国語教育指導連絡協議会が開催されました。教育研究所所長の佐藤学教育部長の挨拶に続き、今年度の組織体制が確認されましたが、会長に大麻泉小学校の笠井賢吾校長、副会長に野幌若葉小学校の中村達矢教頭が選任されました。

協議会では、市内の外国語教育を推進させていく上で、生じてくる課題に対して協議会メンバーで連携し対応を進めていくことや、今年度の事業計画についての確認が行われました。また、市内で指導用資料の共有化を図るために、データの蓄積を進めていることや、「中学校入学までに身に付けさせる」学習リスト、基本的な学習展開の在り方についても確認が行われました。

更に、協議会の後半では、事前に集約したアンケート課題「①系統的な教育課程の編成の工夫、②指導において抱えている不安、③指導連絡協議会で情報交流したいこと」について下記の通り交流が持たれました。

1 系統的な教育課程の編成の工夫について

- ・ 教科書やCan-Doリストにそった教育課程を共有
- ・ 中学校区内での出前授業や交流による指導方法・内容の確認
- ・ 中学校と連携した教育課程の系統表の作成
- ・ 中学校と連携した「書き方」の指導の共有

<確認事項>

- ① 教科書に記載されている学習内容に沿った編成を基本とする。
- ② 中一ギャップ等を生じさせないために、基本的な授業スタイルを共有させる。
- ③ 「書き」に関する指導は、授業展開の中に位置づけていくことが重要。英作文表現の取組や、ワークシートを活用した学習のまとめを推進。

2 外国語指導で不安なこと、気になっていることについて

- ・ 一斉指導の中で、格差がある児童生徒(得意な子、苦手な子)に対してどのような工夫ができるか
- ・ 同じ中学校区で指導している小学校の学校間格差がどれくらいあるのか不安
- ・ 指導方法について、中学校区の枠を超えてもっと共有できる体制を確立させることができないか
- ・ デジタル教科書やICTを有効に活用した事例を知りたい。共有できるような体制が整うとありがたい

<確認事項>

- ① 指導方法の共有に関しては、市内で交流授業の実施や、指導資料の共有など、取組みが進められてきているが、これらの取組みがさらに充実させられるようにしていきたい。
- ② デジタル教科書やICTの活用事例についても、情報の提供があれば、共有する体制を整えていくことは可能であり、良い実践例があれば積極的に提供をお願いしたい

3 指導連絡協議会で情報共有したいこと

- ・ 外国語教育での「個別最適な学び」の工夫について共有したい
- ・ 外国語教育における生成AIの効果的な使い方
- ・ 評価に関連するテストの内容について
- ・ その他

令和8年度 江別市教育研究所 事業計画

5月7日（木）に第1回所員会議が開催され、今年度の組織体制の立ち上げと事業計画について協議が行われました。本年度は、教職員の研修充実や児童生徒の意識調査、大学と連携した体力向上事業を柱に、江別市の教育の質を高めるための取り組みを推進します。

1. 所員会議

年間6回の会議を行い、教職員の研修事業、調査研究事業などを進めます。

2. 教職員研修「夏期セミナー」

7月27日（月）～29日（水）の3日間、計6講座を開催します。今日的な教育課題である「特別支援教育」「不登校対応」「GIGAスクール対応」など、指導に直結する専門性の高い内容を計画しています。

3. 調査研究報告書No.42の発行

児童・生徒を中心に学習や生活などに関する意識調査を行い、集計し分析・考察を加えてまとめたものを各学校や教育関係機関に配付します。

今年度は、江別太小・北光小・東野幌小・中央小・大麻小・大麻泉小・江別第一中・江別第二中・大麻東中の9校にアンケートの協力をお願いします。

4. 小学校外国語教育指導連絡協議会の運営

- (1) 会議開催 年間2回（5月、1月）
- (2) 研修会 市内中学校英語授業参観・意見交流会
小学校外国語活動授業参観・意見交換会
- (3) 指導計画編集委員会 小学校外国語教育についての残された課題について検討していきます。

5. 江別市体力向上事業（北翔大学との提携事業）

(1) 走り方教室

小学生に正しい走り方や練習の仕方などを身に付けさせるために、北翔大学の協力を得て実施します。

(2) 「江別がときめくスポーツライ大作戦」普及出前授業

様々なスポーツに楽しく触れる体験活動を通じ、運動に対する関心を高め、自発的な運動の習慣化を促します。本年度は対雁小、大麻泉小など6校で出前授業を実施予定です。

6. 所報の発行

教育長の挨拶、研究所事業計画・報告、小学校外国語教育の推進と報告、体力向上の推進と報告、夏期セミナーの案内と報告、道研連研究大会の報告などの内容で、年間7、8回程度発行し情報提供します。



令和8年度 教育研究所所員一同の写真

実践的な「教職員夏季セミナー」の開催

7月27日 7月28日 7月29日

特別支援 不登校対策

7月27日から29日の3日間、特別支援や不登校対策など今日的課題に対応する6講座を実施します。

児童生徒の意識調査と分析

市内1/3の小中学校を対象に意識調査を行い、分析結果を「調査研究報告書」として各校へ配布します。

11月～12月の間に企画

大学連携による体力向上プロジェクト

北翔大学 正しい走り方教室 スポトラ

北翔大学の協力を得て、正しい走り方教室やスポーツ体験事業「スポトラ」を巡回実施します。

令和8年度 江別市教育研究所体制

| | | |
|-------|-------|--------------|
| 所長 | 佐藤 学 | 教育部長 |
| 副所長 | 稲田 征己 | 学校教育支援室長 |
| 副所長 | 江連 誠二 | 江別第一中学校 校長 |
| 所員 | 佐々木康人 | 東野幌小学校 教頭 |
| 所員 | 熊谷 夏子 | 大麻西小学校 教諭 |
| 所員 | 篠崎 護 | 上江別小学校 教諭 |
| 所員 | 小野寺俊博 | 江別第一中学校 教諭 |
| 所員 | 川上 若葉 | 江陽中学校 教諭 |
| 事務局長 | 高橋 秀明 | 教育研究所 |
| 事務局次長 | 丹羽 芳徳 | 学校教育課教職員担当主査 |